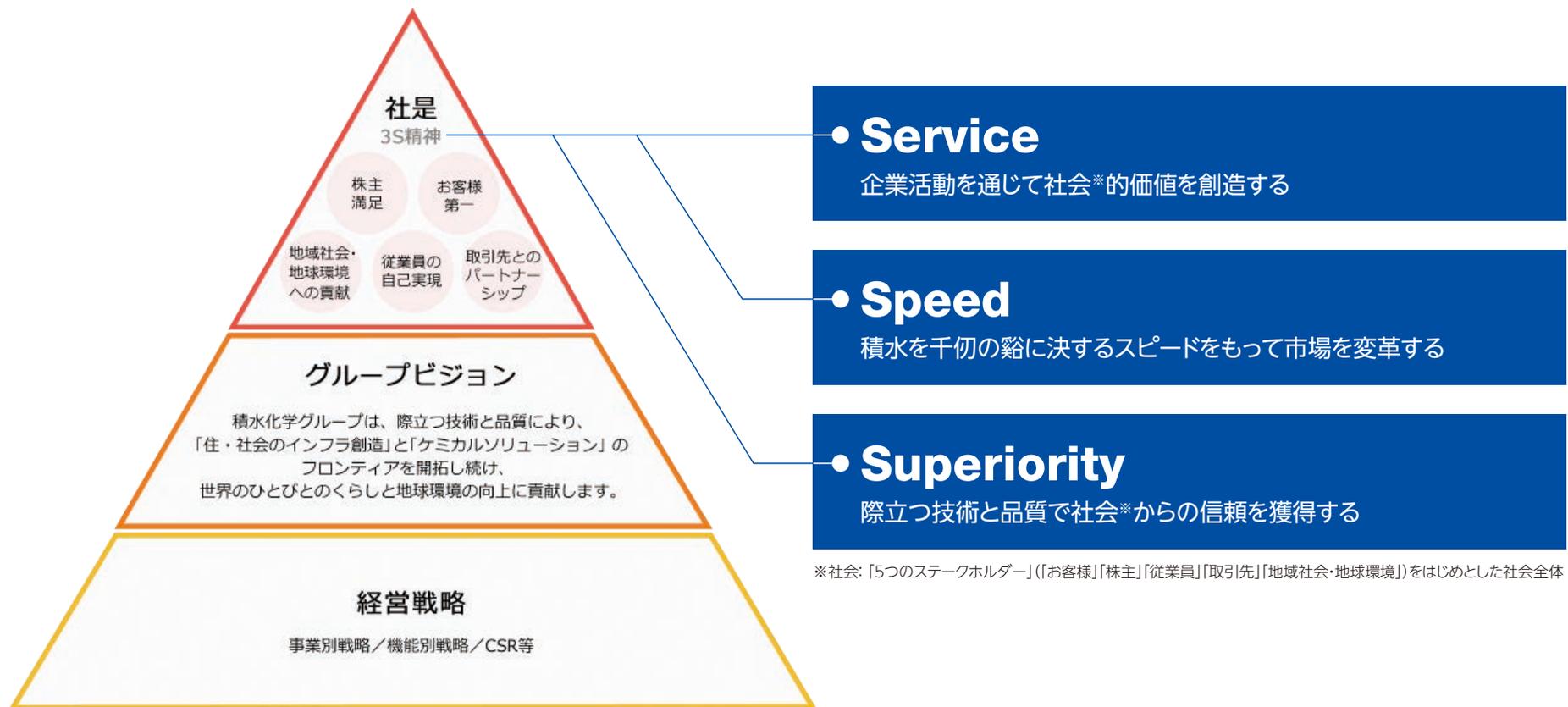


理念体系

理念体系

積水化学グループの理念体系は、企業活動の根底にある考え方や方針を示す「社是」、「社是」をうけて中長期でグループが目指す姿を示した「グループビジョン」、そしてグループビジョンを実現していくための具体的な「経営戦略(中期経営計画他)」によって構成されています。

長らくグループ内で大切にしてきた考え方である「社是」から、市場環境や時代の変化に応じて策定する「経営戦略」までを体系化することで、一貫した考え方に基づく経営を可能にしています。



理念体系の「社是」「グループビジョン」など、個々の詳しい内容については、下記のWEBサイトをご覧ください。

<http://www.sekisui.co.jp/company/vision/index.html>

積水化学グループのCSR

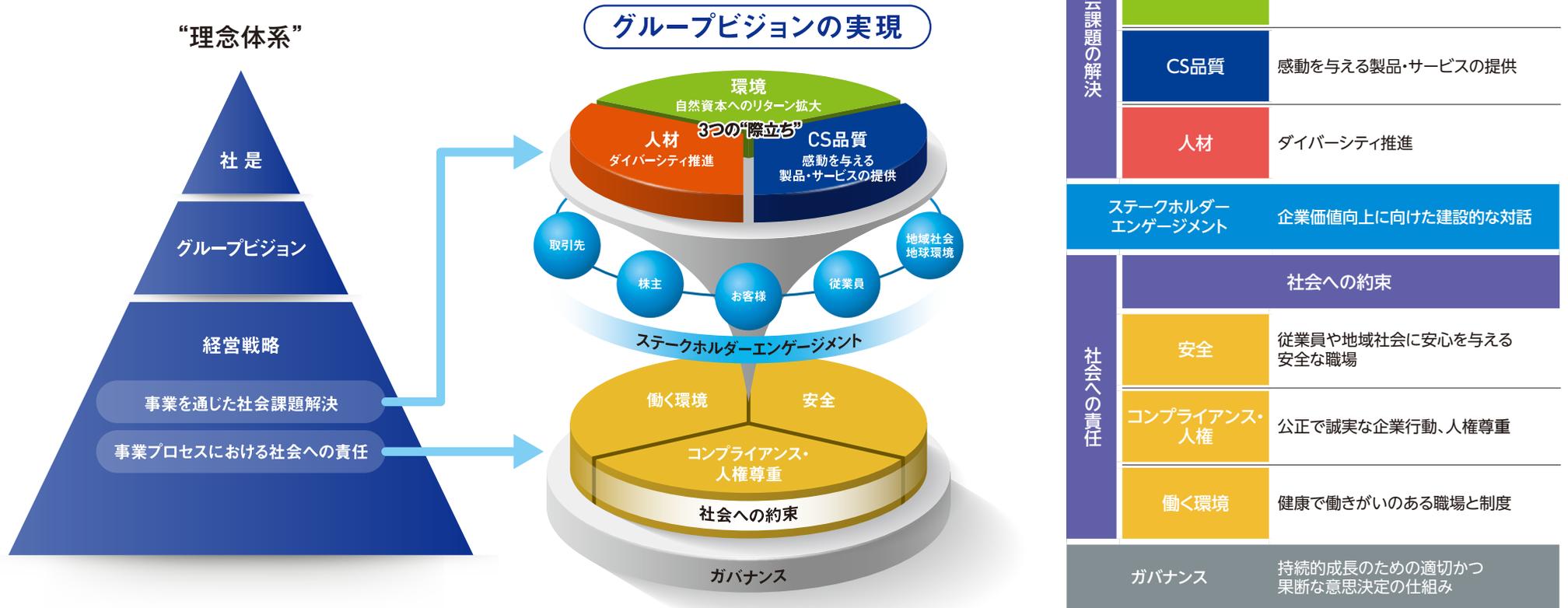
積水化学グループのCSR

積水化学グループはCSRを社是3S精神の実践と捉え、経営戦略の中心に位置づけて、「事業を通じた社会課題解決」と「事業プロセスにおける社会への責任」の実践に取り組んでいます。

社会的要請の変化などを踏まえ、E(環境)／S(社会)／G(ガバナンス)視点でCSRを見つめ直し、2017年にCSR概念図を改定いたしました。

ステークホルダーとの建設的な対話を通じた深い相互理解に努め、ステークホルダーの期待を把握し、経営に活かすこと、高いレベルのガバナンスを土台として、事業と一体となった取り組みを一層力強く推進することを通して、グループビジョンの実現を目指していきます。

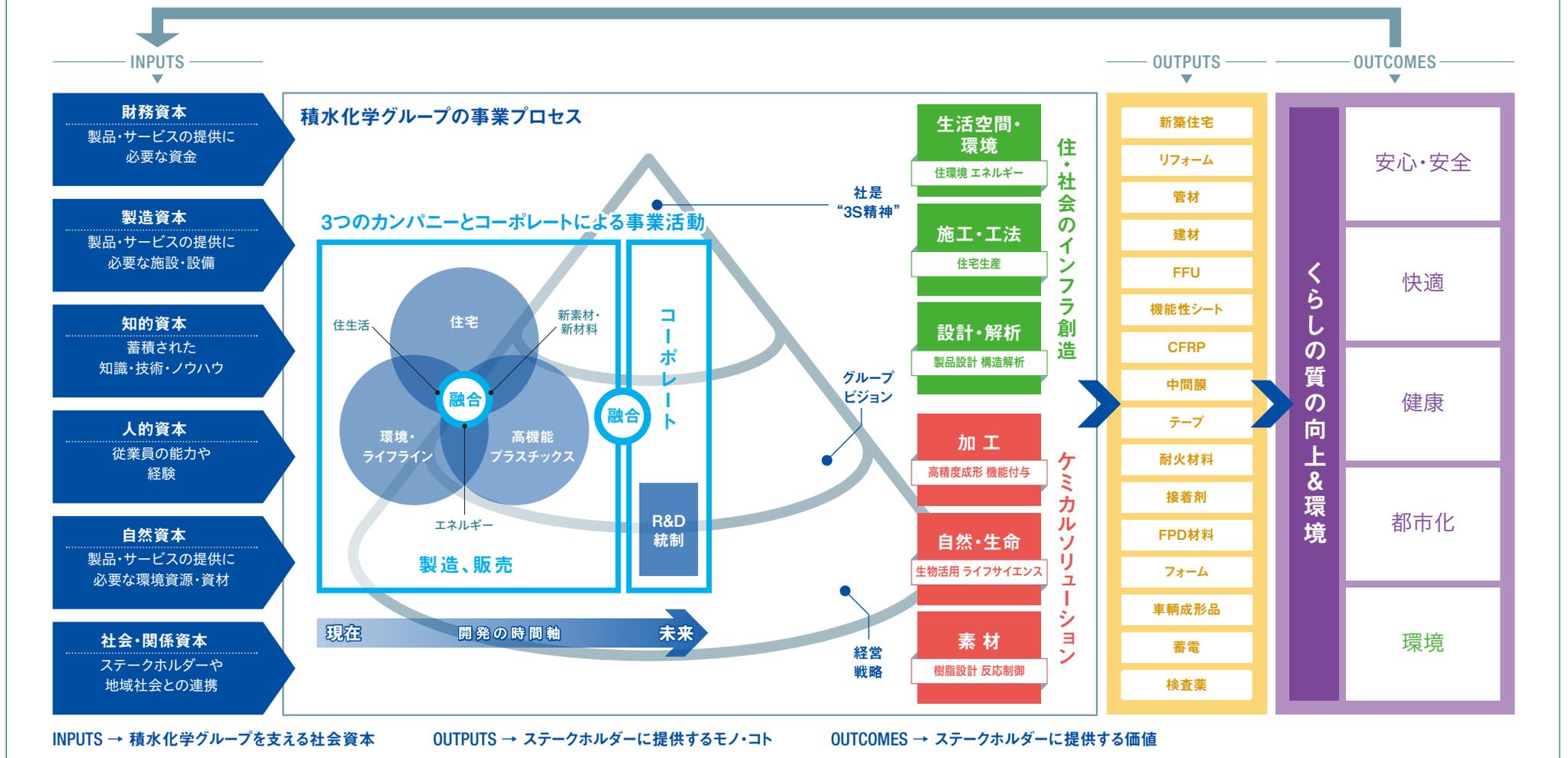
<新CSR概念図>



価値創造サイクル

価値創造サイクル

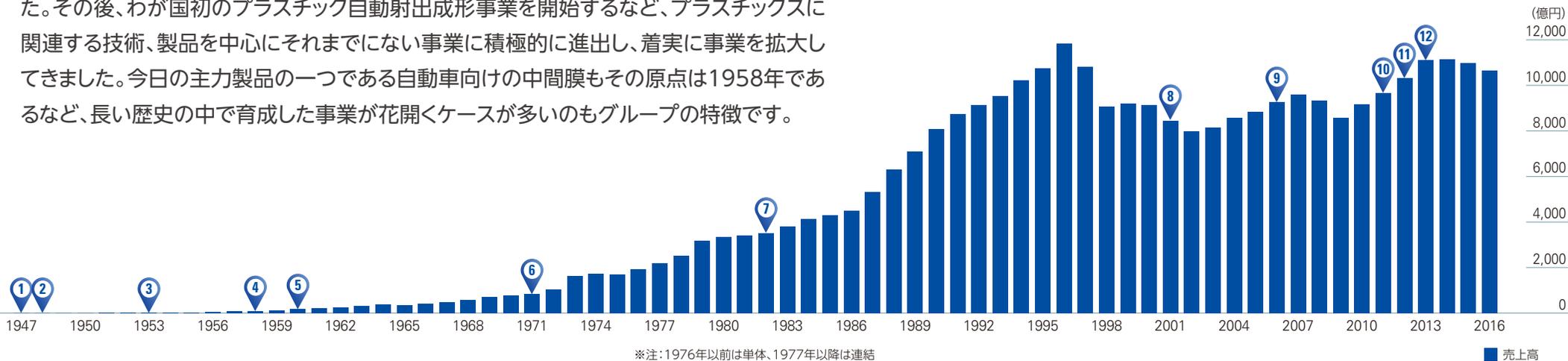
積水化学グループは、グループの技術や強みを“融合”させることで、社会に共有される新たな「価値」を創出し、「くらしと環境」における社会課題の解決に貢献する製品やサービスを提供していきます。



積水化学グループの軌跡

積水化学グループの軌跡

積水化学グループは1947年3月、プラスチックの総合事業化を目的として、創業しました。その後、わが国初のプラスチック自動射出成形事業を開始するなど、プラスチックに関連する技術、製品を中心にそれまでにない事業に積極的に進出し、着実に事業を拡大してきました。今日の主力製品のひとつである自動車向けの間接膜もその原点は1958年であるなど、長い歴史の中で育成した事業が花開くケースが多いのもグループの特徴です。



1 1947年

プラスチックの総合事業化を目的とし、積水産業株式会社として発足



4 1958年

合わせガラス用中間膜「S-LECフィルム」の製造を開始



7 1982年

群馬工場を新設、塩化ビニルパイプ、ユニット住宅外壁パネルの製造を開始



10 2011年

米国の医薬品会社 Genzyme Corporation から検査薬事業を買収し新会社を設立



2 1948年

自動射出成形によるわが国最初のプラスチック自動射出成形事業を開始



5 1960年

滋賀栗東工場開設。塩化ビニルパイプ、塩化ビニル建材製品の製造を開始



8 2001年

カンパニー制を導入



11 2012年

三菱樹脂株式会社の管材事業を譲り受ける



3 1953年

プラスチック成型品の製造を開始



6 1971年

鉄骨系ユニット住宅「ハイム」の販売を開始、住宅事業に進出



9 2006年

第一化学薬品株式会社(現:積水メディカル株式会社、連結子会社)を買収



12 2013年

タイにユニット住宅量産工場を新設



■ 売上高

積水化学グループにおけるSDGsの取り組み

積水化学グループにおけるSDGsの取り組み

積水化学グループでは、古くからさまざまな製品・事業を通じて、社会課題の解決に貢献してきました。また、2009年に国連グローバル・コンパクトへの支持を表明するなど、国際機関や国際ルールへの積極的な関与を推進してきました。ここでは、国連が主導になってまとめたアジェンダ「持続可能な開発目標(SDGs)」のうち、グループが事業活動を通じて貢献している製品・サービスをご紹介します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>

13 気候変動に具体的な対策を

自動車用遮音・遮熱中間膜

エアコン効率化やガラス薄肉化により車両走行時のCO₂を削減し、気候変動の緩和に寄与



13 気候変動に具体的な対策を

太陽光発電システム搭載住宅

太陽光発電と蓄電池、HEMSで創・省・蓄エネを可能にした住宅。居住におけるCO₂を削減し、気候変動の緩和に寄与



積水化学グループにおけるSDGsの取り組み

積水化学グループにおけるSDGsの取り組み

13 気候変動に具体的な対策を

タイにおける住宅

タイで生産・販売している省エネ性と耐久性を備えた住宅。タイでのCO₂削減に貢献し、気候変動の緩和に寄与



12 つくる責任 つかう責任

ポリエチレン管 エスロハイパーシリーズ

電気融着接合で管と継手を一体化するため、漏水しない上水道管。漏水を防ぎ、資源(水)利用の効率化により資源循環に寄与



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

管路更生SPR工法

老朽化の進む下水道を非開削工法によって、短い工期で更生し、強靱化



13 気候変動に具体的な対策を

フィルム型 リチウムイオンバッテリー

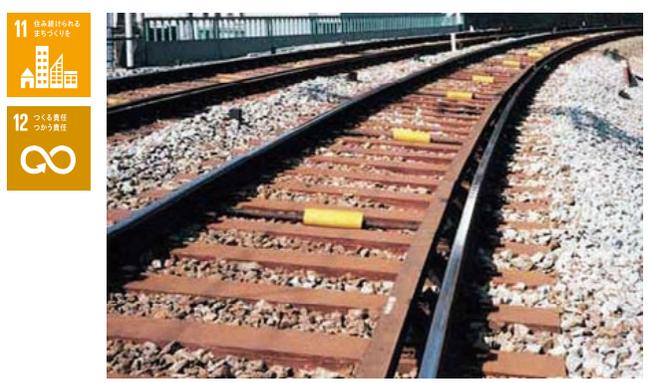
フィルム化により大容量化を可能にし、再エネ有効活用を促進し、気候変動の緩和に寄与



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

合成木材FFU

高い耐久性を有する合成木材。線路のまくら木として活用され、モビリティ走行の安全を強化



3 すべての人に健康と福祉を

ウイルス性疾患の検査薬

ウイルスに感染しているかどうかを診断する検査薬。病気の早期発見につながり、健康寿命を延長



社外からの評価

社外からの評価

積水化学グループでは、環境貢献製品を中心とした環境経営、CSRに対する積極的な取り組み姿勢が外部からも評価され、主要なSRIインデックスに選定されているほか、環境、品質、人材などの分野で高い評価を受けています。

CSR全般

- DJSI[Industry Leader][World][Asia Pacific] 選定
- Robeco SAM サステナビリティ格付け[Gold Class]
- FTSE4Good Index 選定
- MSCI Global Sustainability Indexes 選定
- Ethibel PIONEER and Ethibel EXCELLENCE 選定
- モーニングスター社会的責任投資株価指数 選定
- 東洋経済[CSR企業ランキング] 46位



"Sekisui Chemical Co. Ltd. has been reconfirmed for inclusion in the Ethibel PIONEER and Ethibel EXCELLENCE Investment Registers since 09/12/2016. This selection by Forum ETHIBEL (www.forumethibel.org) indicates that the company can be qualified as a sector leader in terms of Corporate Social Responsibility (CSR)."



FTSE4Good



THE INCLUSION OF Sekisui Chemical Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Sekisui Chemical Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



In Collaboration with RobecoSAM



(2017/1/4)

環境

- 日経[環境経営度ランキング] 43位

CS品質

- 日本科学技術連盟「品質経営度ランキング」11位
- 日本科学技術連盟 デミング賞本賞受賞(当社相談役 大久保尚武)
- 日本科学技術連盟 日本品質奨励賞 品質革新賞受賞

人材

- 経済産業省 平成25年度「ダイバーシティ経営企業100選」受賞
- 経済産業省・東京証券取引所 平成28年度「なでしこ銘柄」選定
- 経済産業省・日本健康会議「健康経営優良法人2017」認定
- 日経「人を活かす会社調査ランキング」75位
- 甲府積水産業(株) 経済産業省 平成28年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」受賞



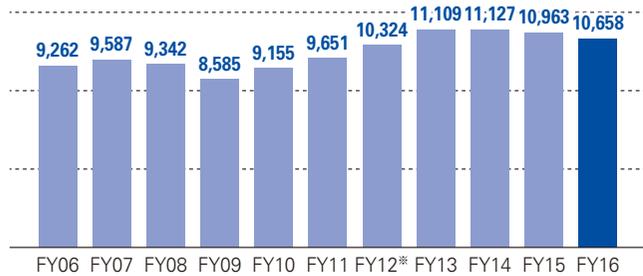
2017
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

財務ハイライト

財務ハイライト

売上高
(億円)

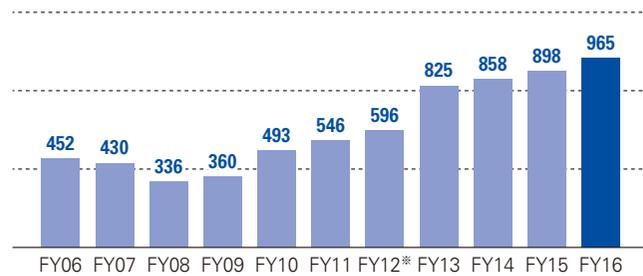
2016年度
10,658億円



※2012年度に実施した海外子会社の決算期変更による影響を含む

営業利益
(億円)

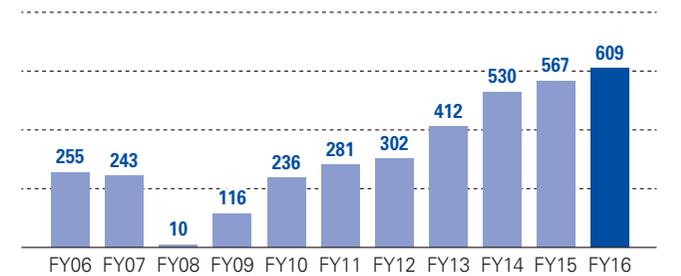
2016年度
965億円



※2012年度に実施した海外子会社の決算期変更による影響を含む

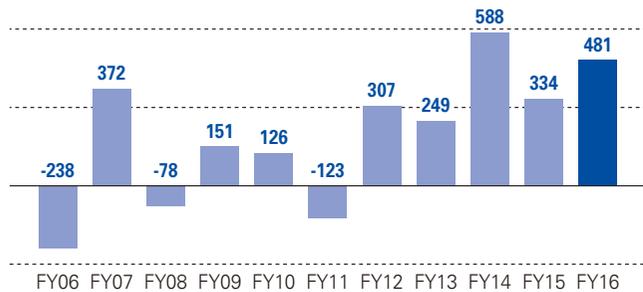
親会社株主に帰属する当期純利益
(億円)

2016年度
609億円



フリーキャッシュ・フロー
(億円)

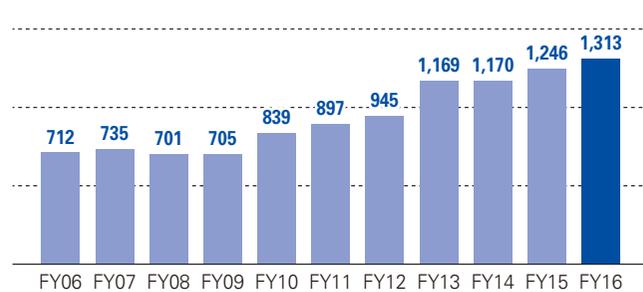
2016年度
481億円



フリーキャッシュ・フロー=営業活動CF+投資活動CF-配当支払

EBITDA
(億円)

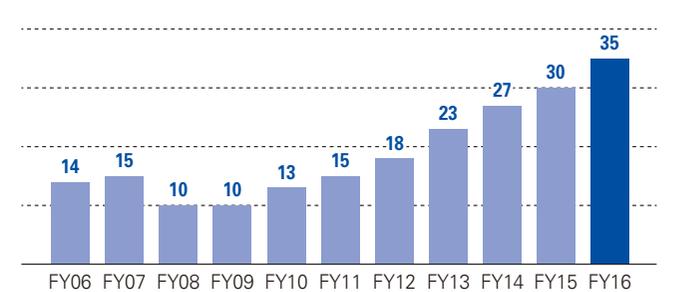
2016年度
1,313億円



EBITDA=営業利益+減価償却費

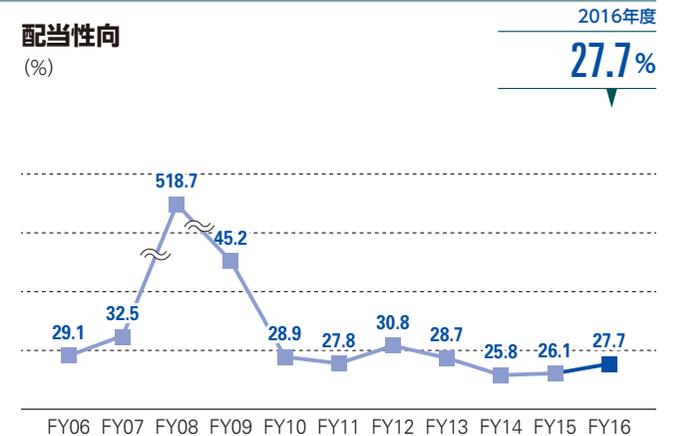
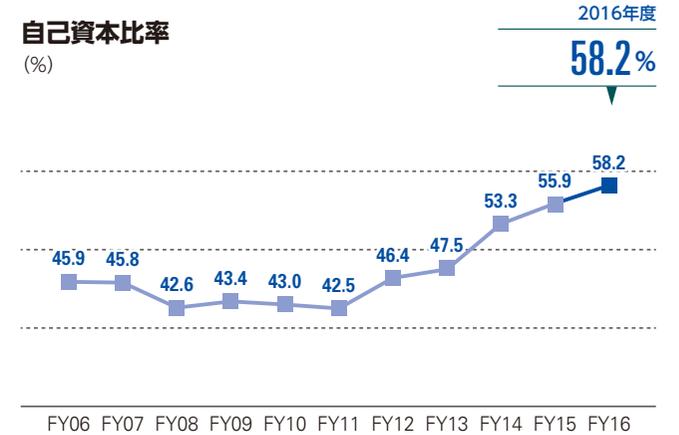
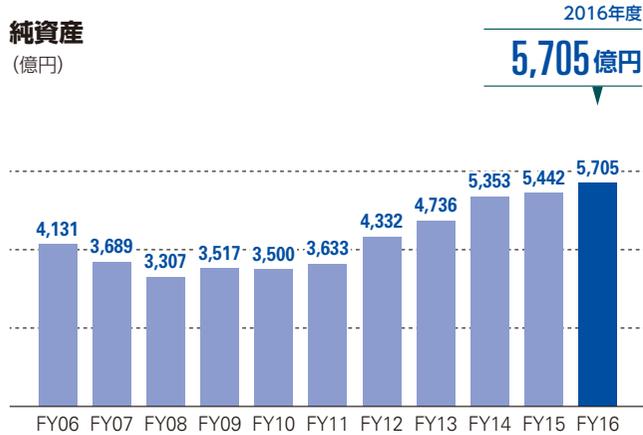
1株当たり配当金
(円)

2016年度
35円



財務ハイライト

財務ハイライト

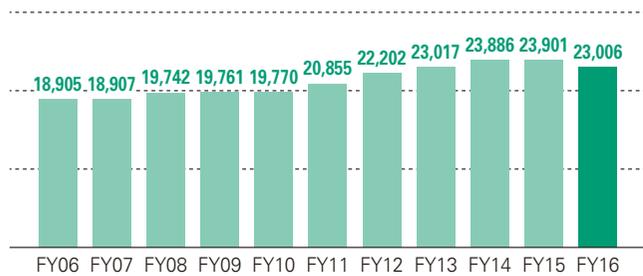


非財務ハイライト

非財務ハイライト

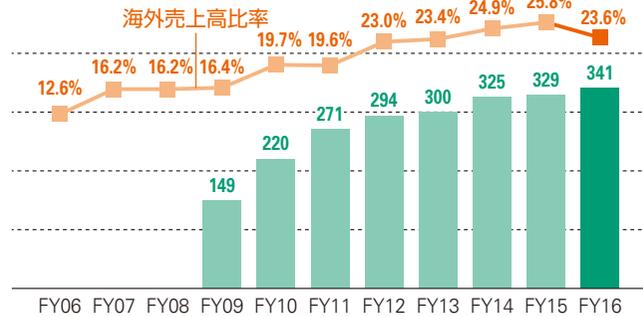
従業員数
(人)

2016年度
23,006人



グローバル人材
(人)

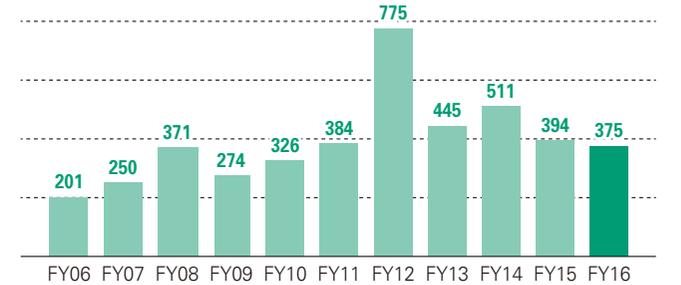
2016年度
341人



グローバル人材：日本人従業員の海外赴任経験者（海外トレーニーを含む）。当制度は2009年度に導入されています。

損失コスト
(百万円)

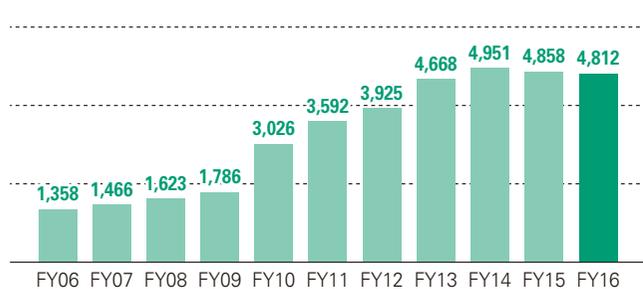
2016年度
375百万円



損失コスト：国内生産事業所・研究所、コーポレート各部署、カンパニー間接部署の労働災害、設備災害、通勤災害、疾病長欠関連費用

環境貢献製品売上高
(億円)

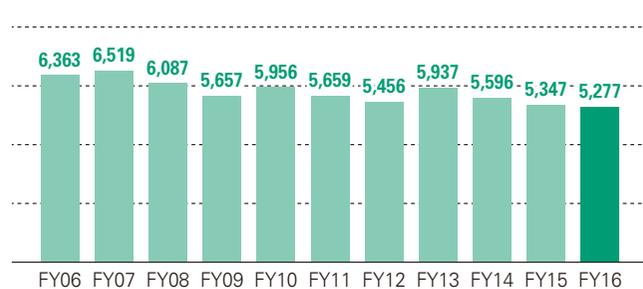
2016年度
4,812億円



環境貢献製品：社内認定制度によって、高いレベルの環境貢献効果を有し、かつお客様の使用段階において、その効果を発揮することを認められた製品

生産時のエネルギー使用量(国内)
(TJ)

2016年度
5,277TJ



生産時の温室効果ガス(GHG)排出量(国内)
(千トン-CO₂)

2016年度
302千トン-CO₂

